

会 員 各 位
関 係 各 位

(公社) 日本医業経営コンサルタント協会
会長 川原 丈貴

令和 5 年度 継続研修実施にあたっての運用方針

主催	運 用 方 針
<p>1 協会本部</p>	<p>① 研修受講条件の均等化、研修負担軽減の為、定額制による受講時間無制限によるオンデマンド型インターネット配信を実施する。</p> <p>② 医業経営コンサルタントとして修得すべき知識・技能・手法等のスキル特性に応じてカテゴライズした研修カリキュラムとプログラムの体系化を拡充する。</p> <p>③ ハード、ソフト、メタ各ステージの定義に基づくカリキュラム編成とテーマ別プログラムとの連関により、職務能力開発の志向性と受講動機に応じた研修内容の接近と選択の整合化のさらなる改良を図る。</p> <p>④ 本部主催の継続研修コンテンツの提供は、3年前後の運用サイクルを以って、所要のプログラムの履修が漏れなく・重複なく・全体を網羅できるよう、カリキュラム最適化とコンテンツ開発の両立を推進する。</p> <p>⑤ 医業経営に有効かつ効率的な成果創出に寄与する論理、思考、道筋、手順、手法、事例等、実際的なコンサルティングの現場で活かせる技能の向上を重点に、修得効果に優れるプログラムを開発し提供する。</p> <p>⑥ 国全体で取り組まなければならない医師の働き方改革の推進に、様々な立場からの取組を支援するキーパーソンとして真に希求されているアドバイザー能力を集中的に開発する研修を強化する。</p> <p>⑦ オンライン診療、AI 問診票等の新たなサービス価値や先端的に知見を学び、医療現場の価値創造に繋がるプログラムを充実する。</p> <p>⑧ 以下の各研修や履修認定対象となる行事等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入会員研修（東京） ・個人研修（動画配信） ・日本医業経営コンサルタント学会（11月16日～17日／京都） ・海外視察研修 ・国内視察研修 ・医業経営セミナー、他
<p>2 協会支部</p>	<p>(1) 各支部の実情に応じ可能な範囲内で実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区または複数隣接支部での共催実施についても積極的に推進する。 ・継続研修実施の際は、継続研修規程、その他の関係諸規則を遵行する。 <p>(2) 実施にあたっての留意事項</p> <p>① 継続研修は、開催日の2ヶ月前までに継続研修実施申請書を協会本部に提出し、教育研修委員会の審査を経て承認を得る。</p> <p>② 支部研修は、原則として支部が主催し、履修認定を要する会員からは規定に則った受講料を徴収する。</p> <p>③ 賛助会員と共催する医業経営セミナーを継続研修（履修認定）とする際は、賛助会員と調整のうえ、①と同様に継続研修実施申請書を協会本部に提出し、教育研修委員会の審査を経て承認を得る。</p> <p>④ 地域特性に着眼した医療・介護・福祉施設の実地研修によって、実際の様子の見聞と理解を深める機会を拡充する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設見学の履修認定は、実時間とし、上限は3時間とする。 ・国内視察研修を実施する際、自支部の都道府県以外の施設等を対象先とする場合、当該施設が所在する都道府県支部との情報共有や調整を図り、支部相互間の合同研修による交流機会創出を積極的に展開する。 <p>⑤ 支部ビデオ研修（DVD）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部ビデオ研修は、開催日1ヶ月前までに、ビデオ研修実施届出書を協会本部に提出、承認を得る。 ・「協会支部におけるビデオ研修の実施要綱」に則して実施する。 ・ビデオ研修の履修認定時間の限度は、会員1人当たり1年間で計12時間とする。

主催 運用方針

3 認定継続
研修団体

(1) 継続研修を実施する際は、継続研修規程、その他の関係諸規則を遵行する。
 (2) 継続研修を主催する団体は、開催日の2ヶ月前までに、継続研修実施申請書を協会本部に提出し、教育研修委員会の審査を経て承認を得る。
 ※ 施設見学の履修認定は、実時間とし、上限は3時間とする。
 ※ 海外研修の履修時間は、実時間とし、上限は20時間とする。実施後は、当協会規程に基づき、報告書を提出する。
 ※ 団体の会員以外の受講を認めない研修の申請、当協会の会員に受講機会の不均等が生じる研修の申請は、継続研修の履修認定を認めない。

4 履修認定学会等

本欄掲載の学会・セミナー・展示会等は、本人が参加した事実を客観的に確認できる参加証・領収証などの書面の写し等を協会本部に提出することによって、履修時間として認定する。
 最新情報は、当協会ホームページに掲載しています。

⑨ R5.4月現在情報/開催予定日等は変更になる場合もあります。

学会・セミナー・展示会	履修時間	開催予定日	場所
日本医療機器学会大会	3時間	6月29日～7月1日	神奈川
日本病院学会	3時間	9月21日～22日	宮城
日本医療情報学会春季学術大会	3時間	6月29日～7月1日	沖縄
日本医療経営学会 夏季セミナー	3時間	6月10日	東京
日本医療マネジメント学会学術総会	3時間	6月23日～24日	神奈川
日本歯科医療管理学会総会・学術大会	3時間	未定	岩手
国際モダンホスピタルショウ	2時間	7月12日～14日	東京
日本医療情報学会看護学術大会	3時間	7月22日～23日	兵庫
日本病院会 病院長・幹部職員セミナー	3時間	8月24日～25日	東京・Web
全日本病院学会	3時間	10月14日～15日	広島
医療経済学会総会・研究大会	3時間	9月2日	千葉
日本精神科医学会学術大会	3時間	10月12日～13日	熊本
日本人間ドック学会学術大会	3時間	9月1日～2日	群馬
日本診療情報管理学会学術大会	3時間	9月14日～15日	青森
全国国保地域医療学会	3時間	10月6日～7日	福井
国立病院総合医学会	3時間	10月20日～21日	広島
日本精神科救急学会学術総会	3時間	10月6日～7日	山口
日本医療・病院管理学会学術総会	3時間	11月4日～5日	東京
全国自治体病院学会	3時間	8月31日～9月1日	北海道
日本医療法人協会 全国医療法人経営セミナー	3時間	11月18日	高知
日本医療経営学会学術集会・総会	3時間	11月11日	東京・Web
医療情報学連合大会	3時間	11月22日～25日	兵庫
日本救急医学会総会・学術集会	3時間	11月28日～30日	東京
HOSP EX JAPAN	2時間	未定	
日本医療福祉設備学会	3時間	11月16日～17日	東京
日本クリニカルパス学会学術集会	3時間	11月10日～11日	埼玉
日本在宅医療連合学会大会	3時間	6月24日～25日	新潟
医療の質・安全学会学術集会	3時間	11月25日～26日	兵庫
医療関連サービス振興会 シンポジウム	3時間	未定	
全国有床診療所連絡協議会総会	3時間	未定	
日本医療パラスト・スपोर्ट 研究学会	3時間	未定	
日本病院会 医療安全管理者養成講習会(3クール)	各3時間	6月16日～17日より開講	Web
日本病院会 医療安全管理者養成講習会アドバンスコース	各3時間	5月13日より開講	東京・他
日本病院会 病院中堅職員育成研修(各コース)	各3時間	(各コース修了につき)	
医療関連サービス振興会 月例セミナー	各2時間	(1回の受講につき)	
独立行政法人福祉医療機構 福祉・医療経営セミナー	各2時間	(1回の受講につき)	
日本医療・病院管理学会 例会	各2時間	(1回の受講につき)	

※上記項目以外の都道府県の行政機関、公的機関、医療関係団体等が主催するシンポジウム、セミナー等については、「学術集会等 履修認定基準・運用方針 学術集会等参加報告・履修認定申請書(別紙①参照)」を提出し、教育研修委員会の個別審査を経て履修認定を行うこととする。

主催	運用方針
5 その他（定款・規則類集「認定登録に関する規程」から抜粋要約）	<p>◇ 登録更新事項</p> <p>(1) 各登録期間に必要とされる継続研修の履修時間は次のとおり。</p> <p>① 第1回目及び第2回目の登録期間（3年）、また第3回目の登録期間（4年）は100時間。このうち本部及び支部主催の継続研修は30時間以上。</p> <p>② 第4回目の登録期間（4年）は80時間。このうち本部及び支部主催の継続研修は24時間以上。</p> <p>③ 第5回目以降の登録期間（4年）は60時間。このうち本部及び支部主催の継続研修は18時間以上。</p> <p>ただし、上記②と③の適用は、平成24年4月1日以降に認定登録 医業経営コンサルタントである者。</p> <p>(2) 登録更新にあたり、規定調整後の履修時間を超えて履修した時間数は、繰越することができる。ただし、その時間数は、更新後の初年度分にまとめて加算されるものとし、次のとおりとする。</p> <p>① 必要履修時間数が100時間の場合は、規定調整後100時間を超えた時間数のうち、25時間を限度。</p> <p>② 必要履修時間数が80時間の場合は、規定調整後80時間を超えた時間数のうち、20時間を限度。</p> <p>③ 必要履修時間数が60時間の場合は、規定調整後60時間を超えた時間数のうち、15時間を限度。</p> <p>◇ 主な履修時間認定対象事項</p> <p>(1) 協会認定の本部・支部・団体が主催する各継続研修の講師を務めたとき、その講義時間数×2を履修時間とする。</p> <p>(2) 「継続研修の履修時間等に関する取扱細則」第5号アに明記された行政機関・医療関係団体等、また、“履修認定学会等”として認定している学会等の主催機関・団体が開催する学会、講演会、研修会、セミナー、シンポジウム等で講師を務めたとき、その講義時間数×2を履修時間と認定する。ただし、年間計12時間を限度とする。この場合、医業経営に関する専門技術的知識等にかかるものであり、かつ肩書きに当協会の「認定登録 医業経営コンサルタント」が明示されていること。（履修時間の申請時には、講師要請書等の証明となる文書等を提出すること。）</p> <p>(3) 機関誌 JAHMC に投稿し、「寄稿」として掲載されたものは、1回につき5時間、年間計10時間を限度とする。</p> <p>(4) その他、「認定登録に関する規程」に基づく、行政機関・医療関係団体等が発行する機関誌への投稿の掲載（1回につき2時間）および書籍の執筆（1書籍につき3時間）は、それぞれ年間計12時間を限度とする。この場合、医業経営に関する専門技術的知識等にかかるものであり、かつ肩書きに当協会の「認定登録 医業経営コンサルタント」が明示されていること。（履修時間の申請時には、証明となる文書や掲載誌等を提出すること。）</p> <p style="text-align: right;">※ 詳細は『継続研修ハンドブック』等で確認してください。</p>

.....履修時間についての留意事項.....

<p>1 登録期間内の必要履修時間に下記の本部・支部主催研修の履修時間が必須</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修時間 100 時間のうち、30 時間以上 ・履修時間 80 時間のうち、24 時間以上 ・履修時間 60 時間のうち、18 時間以上 	履修上の制限	主な研修種別	時間数制限（規定調整）
		個人研修（動画配信）（本部研修）	年間上限 50 時間
		施設見学・視察研修	1 登録期間内での履修認定時間の上限は各 20 時間 （主催機関によらず研修種別の合計でみなす）
		海外研修	
		履修認定学会等	
ビデオ研修（本部・支部研修）	年間上限 12 時間		

※ 新入会員（初めて認定登録 医業経営コンサルタントになった会員）は、「新入会員研修（4時間）」（本部主催研修）を初回登録期間内に履修する義務があります。履修しないと登録更新できません。

※ 詳細は、『継続研修ハンドブック』及び、定款・規則類集の「認定登録に関する規程」等を参照ください。

※ 当運用方針は、当協会ホームページ内「研修・セミナー・学会」のページでダウンロード（PDF ファイル）できます。

学術集会等 履修認定基準・運用方針

1. 履修認定の目的

医業経営コンサルタントに関わる知の交流と実践による革新を進め、学術に根ざした成果を広く医療界に発信し、社会に貢献する教養あるプロフェッショナルの育成に寄与する。

2. 学術集会等の定義

学術集会とは、学会や学術大会を含む、特定の分野や学術内容に興味のある人を対象とした集まりで、最新情報の獲得、意見交換の場を指す。知的探究心に基づき展開される知的創造活動とその所産としての知識・方法の体系を対象とし、新たな知識を生み出す活動、あるいは科学的な知識の利用及び活用に従事する者、その分野の第一人者などが参加して専門分野について講演を行ったり、シンポジウムやパネルディスカッション、プレゼンテーションやワークショップなどが行われたりする知的・文化的価値を有するものである。

3. 認定基準

- ① 本規定における「履修認定の目的」及び「学術集会等の定義」に適合するもの。
- ② 医学・医療・医業に関する学術・事業・活動を行う団体等が主催しているもの。
- ③ 公益性の高い団体が主催しているもの。
- ④ 医業経営コンサルタントの知識や能力の維持・向上に資する内容が含まれているもの。
- ⑤ 一般の参加が認められており、当協会会員が自由に参加できるもの。
- ⑥ 既に開催等の実績があり、社会的評価が得られているもの。
- ⑦ 定期的に行われているもの。
- ⑧ 上記全てに当てはまらない場合（他団体が主催し、支部等が協賛・後援するセミナー等を含む）は、教育研修委員会が認めるもの。

4. 認定基準適合区分

区分	履修認定申請方法
① 本協会の外部理事の推薦団体が開催するもの（全日本病院協会／日本医師会／日本医療法人協会／日本看護協会／日本歯科医師会／日本精神科病院協会／日本病院会／日本医療・病院管理学会／日本医療福祉建築協会）	・参加証明書・参加費領収書等、受講確認ができるもののコピー等を協会本部に提出。
② 本協会から外部理事を推薦している団体が開催するもの	
③ 本協会が共催・協賛・後援するもの	
④ 学会名鑑（日本学術会議、日本学術協力財団、科学技術振興機構による日本学術会議協力学術研究団体のデータベース（ https://gakka.i.jst.go.jp/gakkai/ ）に登録されているもの。	

⑤日経メディカル学会情報（データベース/ https://medical.nikkeibp.co.jp/inc/all/gakkai/ ）に掲載されているもの	
⑥学会の歴史や参加人数など一定の実績を踏まえて教育研修委員会が予め認定したもの	
⑦上記に当てはまらないもの	・上記に加え、「 学術集会等参加報告・履修認定申請書 」を協会本部に提出。

・①、②、③、④に該当する学術集会等一覧

学術集会等の名称	履修認定時間
日本病院学会	3時間
全日本病院学会	3時間
全国医療法人経営セミナー	3時間
日本医学会総会	3時間
日本歯科医学会総会	3時間
日本精神科医学会学術大会	3時間
日本医療・病院管理学会 学術総会	3時間
国際モダンホスピタルショー	2時間
日本医療・病院管理学会 例会	各2時間
日本病院会 医療安全管理者養成講習会	各3時間
日本病院会 病院中堅職員育成研修(各コース)	各3時間
日本病院会 病院長・幹部職員セミナー	各3時間
医療関連サービス振興会 シンポジウム	3時間
医療関連サービス振興会 月例セミナー	各2時間
日本医療福祉設備学会	3時間
医療と介護の総合展（メディカルジャパン）	2時間
ファシリティマネジメントフォーラム	2時間
医療経済学会 研究大会	3時間
医療の質・安全学会学術集会	3時間
国立病院総合医学会	3時間
全国介護老人保健施設大会	3時間
全国国保地域医療学会	3時間
全国在宅療養支援診療所連絡会 全国大会	3時間
全国自治体病院学会	3時間
全国有床診療所連絡協議会総会	3時間
日本医療機器学会 大会	3時間
日本医療経営学会 夏季セミナー	3時間
日本医療経営学会 学術集会・総会	3時間

日本医療情報学会 看護学術大会	3 時間
日本医療情報学会 春季学術大会	3 時間
日本医療情報学会学術総会(医療情報学連合大会)	3 時間
日本医療バラスト・スカーフ研究学会	3 時間
日本医療マネジメント学会学術総会	3 時間
日本救急医学会総会・学術集会	3 時間
日本クリニカルパス学会学術集会	3 時間
日本在宅医療連合学会大会	3 時間
日本歯科医療管理学会総会・学術大会	3 時間
日本診療情報管理学会学術大会	3 時間
日本精神科救急学会学術集会	3 時間
日本人間ドック学会学術大会	3 時間
独立行政法人福祉医療機構 経営セミナー	各 2 時間
HOSP EX JAPAN	2 時間

5. 認定対象年度

認定基準の条件を満たし、履修認定学術集会等として認められたものについて、教育研修委員会が、履修認定の対象年度を、次のいずれかで認定する。

- ① 毎年度
- ② 申請年度のみ

6. 認定時間

- ① 原則として、認定時間は以下のとおりとする。

ア 開催日数に限らず、学術的発表を有するもの（学術集会・学術大会・学会・総会等）：**3 時間**

イ 3 時間以上のセミナー・シンポジウム・パネルディスカッション・プレゼンテーション・ワークショップ等：**3 時間**

ウ 毎月等定期的に開催されている 1 日 2 ～ 3 時間のセミナー等：**2 時間**

エ 展示会：**2 時間**

- ② 学術集会等のプログラムにおいて、単体で参加できる併設展示会や市民公開講座等のみに参加した場合は、履修認定対象とはしない。
- ③ 履修認定学術集会等のプログラム内に、本協会がセミナーや講演等を実施する場合は、別途、履修時間を追加設定する場合がある。
- ④ その他上記にあてはまらない場合は、教育研修委員会において審議のうえ決定する。

7. 認定時間の上限

1 登録期間の履修認定時間数の上限は、20 時間とする。

8. 学術集会等 参加報告・履修認定申請書

学術集会等参加報告・履修認定申請書

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会

教育研修委員会 御中

履修認定の目的： 医業経営コンサルタントに関わる知の交流と実践による革新を進め、学術に根ざした成果を広く医療界に発信し、社会に貢献する教養あるプロフェッショナルの育成に寄与する。

学術集会等の定義： 学術集会とは、学会や学術大会を含む、特定の分野や学術内容に興味のある人を対象とした集まりで、最新情報の獲得、意見交換の場を指す。知的探究心に基づき展開される知的創造活動とその所産としての知識・方法の体系を対象とし、新たな知識を生み出す活動、あるいは科学的な知識の利用及び活用に従事する者、その分野の第一人者などが参加して専門分野について講演を行ったり、シンポジウムやパネルディスカッション、プレゼンテーションやワークショップなどが行われたりする知的・文化的価値を有するものである。

提出日 年 月 日

所属都道府県 支部

会員番号

会員氏名 ㊞

名 称		主 催	
開 催 日		場 所	
集会等テーマ			
集会等内容			
教育講演等			
報 告 内 容	<p>【実用の視点／得たこと】 (utility : 実際に役に立つ性質・実際に用いてみる価値)</p> <p>【効果の視点／感じたこと】 (effect : 効き目があるさま・効力がある傾向)</p> <p>【便益の視点／気づいたこと】 (benefit : 役立つ傾向・有効に機能する性質)</p>		
特 記 事 項			

事務局使用欄	整理番号：	学術集会等参加報告・履修認定申請書No.：				
書面受理期日	条件基準確認	履修認定区分	履修認定時間	委員会審議期日	委員会承認	履修認定処理
		<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ <input type="checkbox"/> エ				